

事業報告書

第 42 期

(自)平成 31 年 4 月 1 日

(至)令和 2 年 3 月 31 日

社会福祉法人 秀幸福社会
庄栄エルダーセンター
大阪府茨木市庄二丁目 7-38

社会福祉法人 秀幸福社会

平成 31 年度 事業報告書 要約

1.<入所・ショート>

平成 31 年度も利用者の入院日数が増加。前年度比較 +1071 日。年度間入院日数が計 2604 日と大幅増となってしまう。

中長期計画「介護サービスの充実」内に基づき、新たに PT を配置することにより、ショートステイ者の ADL 維持、リハビリに特化した施設ということをアピールし、居宅介護支援事業所等に高評価を頂く。コロナウイルス拡大防止対策にて、受け入れ最小限に行い、稼働率激減となる。継続しての感染症対策をもって、安全にご利用いただき、通常利用・通常稼働率を目指す。

2.<デイサービス>

認知症対応型に関して、複数回利用の利用者の入院や、家族の都合によりロングショートの利用になる事が重なり、低下。新規の定期利用があったものの、複数回利用には至らず、カバー出来なかった。

機能訓練に関しては、リハビリ目的の利用者が多く、バランス良く新規を獲得出来、上昇傾向がみられた。機能訓練を 5/W⇒6/W への営業増加も検討。体制が整い次第実施。平成 31 年度も、職員の離職率 0%。

3.<庄栄エルダーヘルプステーション>

総合支援の改正による対応で 60 分のサービス時間を 45 分にすることで経費を減らす対応をし、収入も昨年より若干上向き傾向になる。

障害サービス等利用者も増え、時間数も増えてきて順調でしたが、3 月に新型コロナウイルスの影響を受ける。

4.<ケアプランセンター>

31 年度、新規プランが 40 件あったものの、介護の重度化から在宅サービスの利用料の負担増、家族の介護の限界を考え、施設入所や持病の悪化による他界の増加で 56 件の減少。少しでも収入アップを目指すため、認定調査の件数を増やす意識をケアマネ一人ひとりが持つことで前年より認定調査件数が増加した結果となった。

5.<地域包括支援センター・エルダー>

平成 31 年度 4 月より、東・白川地域包括支援センターを開設。エルダーでの担当小学校区が 2 小学校区減少。職員体制も 9 人から 6 人となったが、しっかり職員間の連携をもって、各関係機関との情報共有に努め、地域の方々の支援にあたる事が出来た。

平成 31 年度 特別養護老人ホーム・ショートステイ事業報告

○H31 年度実績報告

<特別養護老人ホーム>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
目標人数(名)	1,680	1,736	1,680	1,736	1,736	1,680	1,736	1,680	1,736	1,736	1,624	1,736	20,440
利用人数(名)	1,528	1,507	1,429	1,513	1,460	1,457	1,647	1,547	1,603	1,421	1,296	1,489	17,897
空き日数(日)	152	224	251	233	276	223	89	133	133	315	328	247	2,604
前年比(%)	95.7	91	88	93	91.9	93.1	99.5	97.7	101.6	90.8	91.8	102.1	94.7
目標比(%)	91	86.8	85.1	87.2	84.1	86.7	94.9	92.1	92.3	81.9	79.8	85.8	87.3

<ショートステイ>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
目標人数(名)	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	580	620	7,300
利用人数(名)	653	663	555	536	701	563	601	552	651	714	690	685	7,564
前年比(%)	101.9	102.8	81.4	72.4	109	93.4	127.6	101.7	101.1	107.5	104.2	95	99.8
目標比(%)	108.8	107	92.5	86.5	113.1	93.8	96.9	92	105	115.2	119	110.5	103.4

○H31 年度特別養護老人ホーム・ショートステイ共通報告

H30年中長期計画「職員の育成」に基づき、運営

・介護職員の年度間 入退職状況

入職者(常勤職員)…6名(内1名は日勤帯勤務職員)

(非常勤職員)…5名(内1名は派遣職員)

常勤職員については中途採用者が多数。(病院勤務や他施設勤務者)

チューター制度を活用し、現段階で全員が夜勤業務を行えるようになっている。

そのうち1名は無資格者であったが、介護知識や技術を少しずつ身につけて、資格所得に向けて日々取り組む姿勢がみられている。

非常勤職員については、日勤帯勤務や入浴担当職員の入職があったが、勤務数の制限から入浴は前年度と変わらず、週2回となっている。

退職者(常勤職員)…7名

(非常勤職員)…8名

新入職員2名とも退職。その他夜勤可能職員の退職により、各フロアの夜勤可能職員減少。

一人あたり 月/8～9回

H30年度中長期計画「職員の確保」に基づき、募集を継続している。特に、夜勤可能職員、早出(6時

6.<地域包括支援センター東・白川>

平成31年4月に東・白川地区に新規オープンする。エルダー包括から引き継ぎ、地域で暮らす高齢者の心身の健康保持や福祉の増進等のために様々な活動を実施。CSW・社協と共催で総持寺団地のよりそい相談会を新規開催する事ができ、高齢者の介護予防教室の新規開催にも協力し、介護予防や高齢者の居場所の確保に貢献しました。今後も、関係機関とのネットワークの構築・強化し、切れ目のない包括的な支援となるよう連携していきます。

7.<CSW>

今年度は、若年層にフォーカスをあて、早期に支援体制が整えられるよう小中学校との連携を中心に図った。結果、年度末に発生した新型コロナウイルス感染症対策において、孤立しがちな若年層への支援(相談)業務が円滑に図れた。

また、茨木市CSW協議会においては、担当地区の再編などがあり、市域全体の連携体制の構築に協議会代表として積極的に取り組めた。

8.<地域密着型認知症対応型デイサービスセンター未来>

2020年1月からは、職員全員が介護福祉士というとてもいいスタートをきる事が出来、専門知識の高い介護が未来で提供させて頂ける事、重度の認知症の方の受け入れや医療的ケアが必要な方の受け入れも積極的にアピールし、受け入れを図るが新型コロナウイルスから、利用者様の利用減少、またケアマネも新規紹介に戸惑いがみられた。今後も認知症の方が安心して生活できる場所の確保・感染予防対策をしっかりとアピールし、認知症の利用者様・家族様に寄り添い・支援して行きます。

9.<茨木市福井多世代交流センター>

茨木市福井多世代交流センターは、高齢者に加えて18歳以下の子どもが利用できる施設になって5年が経過。運営・管理は、職員を2人体制として交代勤務で行っております。施設有料化に伴い、団体の部屋利用とマッサージ機等の付帯設備利用について有料になり、開園時間も、午前9時から午後9時までとなっております。

また、茨木市直営の送迎バスの廃止により、利用者の利便性を確保するため、自主事業として送迎車を運行し、利用者の送迎を行っております。

～14時15分)、入浴担当(13時～)を集中して募集をかけることで、夜勤人数や入浴担当人数を十分に確保していく。

・人材育成について

中長期計画に基づき、研修計画を立案

内部研修 … 事業計画通りの内容で毎月学習会を実施

外部研修 … 8項目受講。退職者の増加により、勤務状況が厳しく、受講数が減少。

職員のスキルアップ向上を図るには必要不可欠である為、次期は受講数を増加することが課題となってくる。

中途採用職員については、チューター制度を活用。早期に単独での業務を行えている。

以前から使用しているOJTチェック表を再検討し、内容をより詳しく明確に作成することでエルダーセンターの職員として求める事項を意識して指導が行っている。在中職員へも配布し、意識付けを行う取り組みを開始。

・見守り体制強化の継続

歩行可能であるが、認知症が重度であり、危険認識が難しい利用者が増えた。

昨年に引き続き介護ロボット「見守りシステム眠りスキャン」を活用。

・コロナウイルス対応

前例がない感染症である為、看護と連携を図り、感染対応マニュアルを作成。

面会、外部ボランティアを中止。委員会の会議も密集時間をなくす為、書面での伝達を行った。

その他、ショートステイ受け入れを個室利用・個室対応のみとさせていただき、特養利用者様の発熱時には個室隔離、ガウンテクニックを用いての対応をとることで感染予防に務めた。

○H31年度特別養護老人ホーム事業報告

・今年度退所者数 … 21名 (昨年度比較 -2名)

・入院日数増加

年度間入院日数 … 2604日 (前年度比較 +1071日)

1月からの入院日数が増加。(2月には過去最多の328日)

長期入院から退所の流れになるケースが多い。毎年の課題であるため、次期は「入院者カンファレンス」を実施。入院による空床数を減少するための取り組みを検討する。

・入所利用者様平均介護度 … 4.5 昨年度と変化なし

・骨折をともなう事故の発生

ベッドから自己にて転落、介助後の痛み、自己にて車椅子への乗車中の3件。

1名は老衰にて退所。他2名は現在治療完了。再発防止への取り組みを継続して行っている。

・午前浴の取り組み

入浴担当職員減少により、午後入浴の介助時間増加。利用者様の入浴人数の調整を図ると共に、安全に、快適に入浴が行えるよう、午前中に入浴を実施。(9時～14時間の勤務者が増えたことにより、午前中の職員数が増加し、取り組み可能であった)しかし、日勤帯職員の減少により2か月程で取り組みを中止。職員が増え次第、再度取り組みを行う予定。

・感染症対策

今冬もインフルエンザ蔓延防止のため、外部ボランティアや面会を制限。

前年度に疥癬が発生したことをうけ、早々に予防(各フロア全居室にバルサンをたく、利用者様が使用される膝掛けの管理、発疹等を確認した際は感染予防対応)することで発生を防ぐことが出来た。

その他、退院された方は様子観察期間を設け、個室対応。外部からの感染症の持ち込みを防ぐことが出来た。コロナウイルス防止のため、感染症対策を日々継続する必要性がある。

○H31年度ショートステイ事業報告

・今年度新規利用者様獲得数 … 140名(昨年度比較 +4名)

引き続き、他事業所からの依頼をいただいているが再利用に繋がる件数は少ない。

リピート率増加が課題となる。

・毎月の営業活動

利用実績、空床案内に加え、行事予定や施設の紹介を掲載した資料を持参し、各事業所へ営業訪問を継続。新たに老人保健施設への営業を開始。(病院から老健への依頼時、満床により受けられず、特養へ重度の疾患をお持ちの方や、リスクが高い利用者様の依頼が増加している現状をうけて)

また、中長期計画「介護サービスの充実」内に基づき、新たにPTを配置することにより、ショートステイ者のADL維持、リハビリに特化した施設ということをアピールすることで稼働率アップを図る。

・緊急ショートステイ者受け入れ

利用者様の状態に合わせたフロアを利用し、柔軟に対応することで家族様や事業所への信頼に繋がった。

・コロナウイルス対策

感染拡大防止のため、茨木市より「新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく介護事業所(通所・短期入所サービスに限る)への要請について」という通達があったことを受けて、ショートステイ受け入れを最小限で行った。それにより稼働率激減。再開時にご協力いただいた感謝と施設利用時の安全性を確実に伝えることで以前のような利用に繋げていくことが必要不可欠となってくる。

また、利用時には感染症対策として「発熱・咳込み等の症状確認」「送迎時の検温」「使用物品の消毒」を基本とし、安全にご利用いただけるよう努める。

平成 31 年度 庄栄エルダーデイサービス事業報告

【平成 31 年度 庄栄エルダーデイサービス稼働報告】

* 営業に関しては引き続き【今井・芦田】が行い、NOは無しの体制を整えた。

* 認知症対応型では、下半期より稼働が低下していった。原因としては、複数回利用の利用者が入院や、家人の都合によりロングショートの利用になる事が重なった。新規は定期的にあつたが、複数回利用には至らず、カバーする事ができなかった。

* 機能訓練に関しては、稼働率・実施利用人数共に上昇傾向がみられた。要因としては、リハビリ目的の利用者が多く、バランスよく新規を獲得できた事が考えられる。その為、機能訓練の業務体制の見直しと、調整を行なった。
また、有酸素運動等の機械の導入を検討。利用者・家族からのニーズが高い機能訓練の顧客増加が見込まれ、それにより通所介護の稼働率向上も図れる。
機能訓練を 5/w ⇒ 6/w への営業増加も検討。体制が整い次第、実施予定。

* 平成 31 年度、職員の離職率 0%。

【実績報告】

平成 31 年度 通所介護・総合支援事業通所介護(登録利用者数 49 名)

月	営業日数	通所介護	総合支援	合計	前年対比	目標	達成率
4月	26日	907名	84名	991名	98.2%	1,274名	77.7%
5月	27日	927名	81名	1,008名	92.9%	1,323名	76.1%
6月	25日	867名	81名	948名	98.3%	1,225名	77.3%
7月	27日	904名	97名	1,001名	97.7%	1,323名	75.6%
8月	27日	883名	86名	969名	92.2%	1,323名	73.2%
9月	25日	856名	83名	939名	100.9%	1,225名	76.6%
10月	27日	940名	92名	1,032名	92.8%	1,323名	78%
11月	26日	899名	80名	979名	98%	1,274名	76.8%
12月	26日	864名	70名	934名	101%	1,274名	73.3%
1月	24日	840名	55名	895名	109.1%	1,176名	76.1%
2月	25日	898名	51名	949名	107.2%	1,225名	77.4%
3月	26日	892名	34名	926名	92.9%	1,274名	72.6%
合計	25.9日	10,677名	894名	11,571名	98.4%	15,239名	75.8%

平成 31 年度 認知症対応型通所介護(登録利用者数 10 名)

	営業日数	合計	前年対比	目標	達成率
4月	26日	192名	120.7%	260名	73.8%
5月	27日	183名	92.4%	270名	67.7%
6月	25日	159名	85%	250名	63.6%
7月	27日	194名	95%	270名	71.8%
8月	27日	182名	93.3%	270名	67.4%
9月	25日	177名	122%	250名	70.8%
10月	27日	166名	85.1%	270名	61.4%
11月	26日	168名	83.1%	260名	64.6%
12月	26日	176名	89.7%	260名	67.6%
1月	24日	144名	81%	240名	60%
2月	25日	125名	65.1%	250名	50%
3月	26日	124名	56.1%	260名	47.6%
合計	25.9日	1,990名	89%	3,110名	64%

【報告事項】

- 毎月2日に今井・芦田の2名にて、SS・ヘルプステーション・配食と共に実績表を持って事業所廻りの実施。
- 認知症の新規獲得が難しい状況で、5時間～6時間の単位数で通常の時間より長く施設で過ごして頂ける事をケアマネに広報を掛け新規獲得に繋げている。又、一般デイサービスにて認知度の高い利用者様には、ケアマネに相談し、認知デイの移行の話をする。
- デイサービスの行事(お楽しみ会)には、臨時利用等の声掛けを行い、利用者確保を図る。
- 体験利用、新規獲得の送迎範囲を距離で対応するのではなく、送迎時間にて対応を行った。
- 毎月、季節毎のカレンダーを職員が見本を作製し、希望される利用者様は職員と一緒に物づくりの一環として、作成を楽しんでいただきプレゼントとした。
- 利用者様の誕生日月の第3週目のスタッフと一緒に写真を撮り、利用者様にプレゼントの実施。
- 毎月のデイ会議後に研修(内部研修)の実施
平成31年度 内部研修内容
4月 障害に合わせた歩行介助 担当:斎藤
5月 認知症研修 担当:内田
6月 接遇・マナー研修 担当:青木

- 7月 機能訓練計画書についての研修 担当:齋藤
- 8月 デイサービス職員意見交換会
- 9月 感染症に関する研修 担当:阿部
- 10月 リスクマネジメント研修 担当:小西
- 11月 非常災害研修 担当:高柳
- 12月 身体拘束研修 担当:小林
- 1月 プライバシー保護研修 担当:山城
- 2月 法令遵守研修 担当:芦田
- 3月 デイサービス職員意見交換会

平成31年度 外部研修内容

- 9月 認知症ケアスタッフのための認知症講座 対象者:中谷
- 10月 口腔ケアについて 対象者:高 齋藤
- 10月 高齢者福祉施設におけるホスピタリティマナーと楽しく学ぶ心理学 対象者:芦田
- 10月 災害時における心構え 対象者:森田
- 10月 アルコール問題に気づくポイントと見立て方 対象者:天田
- 11月 感染症予防研修 対象者:高
- 11月 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課題課程～チームリーダー編～ 対象者:内田
- 12月 続・緊急時の介護 対象者:山城
- 1月 自立支援・重度化防止に向けた通所型サービス事業所の役割と実践 対象者:八木
- 1月 高次脳機能障害 対象者:八木
- 2月 生活期のリハビリテーション～医療・介護を繋ぐ～ 対象者:千原
- 2月 救急救命に関して 対象者:韓

平成31年度 伝達研修内様

- 4月 老年期にみられる精神症状について 担当:森田
- 10月 認知症ケアスタッフのための認知症講座 担当:中谷
- 11月 高齢者福祉施設におけるホスピタリティマナー 担当:芦田
- 1月 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 担当:内田
- 2月 高次脳機能障害 担当:八木

【平成31年度 行事報告】

※毎月第1月曜日:スマイル体操・毎月第3火曜日:歌体操

4月19日(金) お楽しみ会:お花見気分からカラオケ大会 担当:山城
 ・画用紙で桜の飾りを作り、デイルームで彩りを行い、利用者様にお花見の気分を感じて頂きながらカラオケを満喫していただく。参加利用者 43名

5月8日(水) ぶどうの会(ボランティア)
 ・ボランティアによる出し物(楽器演奏、漫談等)を利用者様に楽しんでいただく。参加利用者 40名

5月13日(月)～18日(土) 手作りおやつ週間 担当:森田・中谷
 ・2種類の手作りおやつ(カステラボール・パンパロア)を厨房の方に手伝っていただき、利用者と一緒に手作りを楽しむ。参加利用者 19名

5月30日(木) 音芸協議会(ボランティア)
 ・ボランティアによる出し物(ハンドベル・ピアノ・歌など)を利用者様に楽しんでいただく。
 参加利用者 42名

6月9日(日) デイサービス初夏の遠足 担当:小西・山城
 ・なばなの里へ利用者、家族様と一緒に遠足へ行き、楽しんでいただく。参加利用者 27名

8月10日(土) フォルテひまわり交流会
 ・フォルテひまわりの園児との交流(歌・体操)を楽しんでいただく。参加利用者 41名

9月11日(水) ちとせ学院敬老会 担当:田中
 ・ちとせ学院の園児達による歌など披露してもらい、利用者楽しんでいただく。参加利用者 42名

10月22日(火) ボランティアによる物づくり
 ・ボランティアの方に教えて頂きながら、物づくりを楽しんでいただく。参加利用者 10名

10月23日(水) デイサービス秋の大運動会 担当:小西
 ・デイフロア全体を使用し、紅白に分かれ利用者が参加できる競技を準備し、全利用者に実施して頂く。各競技に参加された方へのプレゼントも用意し、普段と雰囲気違ったデイサービスを楽しんでいただく。参加利用者 42名

2019年度 ホームヘルプステーション 事業報告書

※2019年度 実績目標時間数 総時間数 1900時間

11月13日(水)～15日(金) 茨木孫・子・老フェスタ 担当:小林
 ・フェスタに展示する作品を利用者共同で作成する。希望者のみ展示会にお連れし、他の事業所の作品などをみて楽しんでいただく。またイオン茨木での開催だった為、お茶も楽しんでいただいた。
 参加利用者 15名

12月24日(火) ちとせ学院クリスマス会
 ・園児たちによる演劇を披露していただき、ふれあいも含めて楽しんで頂く。参加利用者 43名

12月25日(水) 避難・消火訓練
 ・玄関、きん

1月21日(月) 新春かくし芸大会 担当:小林
 ・職員による芸(出し物)をみていただき、楽しんで頂く。参加型の出し物には利用者にも入っていた。
 参加利用者 44名

2月25日(月)～3月1日(金) お食事ツアー(木曽路)
 ・計5日間の開催で、参加希望の利用者を茨木の木曽路までお連れしランチを召し上がっていただく。
 参加利用者 42名

(内訳介護保険1,500時間・障がいサービス300時間 子育て支援50時間 保険外サービス 50時間)

総時間数 目標時間1900時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	1633.0	1644.2	1587.1	1680.9	1555.4	1516.3	1780.6	1634.6	1622.6	1512.1	1565.5	1615.9	19347.9
目標比	86%	87%	84%	88%	82%	80%	94%	86%	85%	80%	82%	85%	85%
昨年対比	94%	90%	95%	97%	93%	100%	104%	101%	102%	102%	106%	101%	99%

＜内訳＞

介護保険 目標時間1500時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	1337.9	1332.3	1294.1	1414.6	1336.1	1279.3	1446.3	1392.2	1369.1	1288.2	1283.5	1393.6	16167.2
目標比	89%	89%	86%	94%	89%	85%	96%	93%	91%	86%	86%	93%	90%
昨年対比	93%	88%	91%	99%	97%	101%	101%	102%	105%	104%	103%	105%	99%

○総合支援の改正による対応で、60分のサービス時間を45分にする事で経費を減らす対応をしているため、

前期に引き続き10月以降 45分に減らした時間数が定着し安定し、収入も昨年より若干上向き傾向

○昨年の12月より新しい事業 総合支援事業 訪問型サービスAの利用者も増えてきています

9月末では17件と増え、3月末には21件と新規を受けています。

○訪問型サービスAの担い手募集に役所の養成研修に令和2年2月18日に訪問し求人してまいりました。

そこで、訪問型サービスA担い手を6人登録していただいています。

障害居宅サービス・移動支援 目標300時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害	225.5	239.25	215.75	224.25	233.75	225.5	236.0	211.3	222.8	187.3	215.0	189.0	2625.3
目標比	75%	80%	72%	75%	78%	75%	79%	70%	74%	62%	72%	63%	73%
昨年対比	97%	111%	116%	117%	100%	119%	109%	102%	108%	107%	136%	93%	110%

○障害サービスも利用者も増え、時間数も増えてきて順調でしたが

3月には新型コロナウイルスの影響で、梅田に買物に行く、カラオケに行くなど行う移動支援が0件収入0円となり、緊急事態宣言が解除になったとして、依頼があるのか、サービスに入ってくれるヘルパーがいるのか、今後の課題となりました。

子育て支援

目標50時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子育て	42.5	36	23.25	10	3	4	6	3.8	3.8	11.5	35.0	8.0	187.0
目標比	85%	72%	47%	20%	6%	8%	13%	8%	8%	23%	70%	16%	31%
昨年対比	127%	107%	54%	22%	8%	20%	28%	24%	15%	35%	98%	19%	46%

○子育て支援の依頼もすくなく、コロナウイルスの影響は大きく、お休みも非常に多かったです。

保険外サービス(アシスタント)

目標50時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	27.3	36.0	23.3	32.0	31.0	36.0	20.0	27.4	27.0	25.2	32.0	25.3	342.4
目標比	55%	72%	47%	64%	62%	72%	40%	55%	54%	50%	64%	51%	57%
昨年対比	61%	58%	75%	77%	84%	99%	69%	84%	50%	77%	84%	72%	74%

○アシスタントサービス

ショートステイでご利用されている利用者の通院などにも対応していく
年齢関係なく、お困りの方がいれば対応していきます。

○ヘルパー人材確保

30年度 ヘルパー数	⇒	2019年度 ヘルパー数
36名		31名

(訪問型サービスA担い手含む)

登録ヘルパー(初任者研修者)⇒0人

登録ヘルパー(訪問型サービスA型担い手)⇒6人

全く 初任者研修者の求人は1人も来ない

しかし、訪問型サービス担い手は6人登録できています。

12月からは、高槻エルダーより近藤さんが訪問介護員としてサービスに入ってます。

サービス提供責任者 5名

訪問介護員(職員) 2名

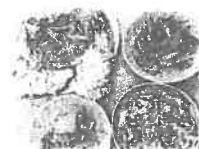
訪問介護員(パート) 1名

登録ヘルパーメンバー 31名

今後は、訪問型サービスA担い手のヘルパーさんに初任者研修をとって頂くように働きかけていこうと思います。

☆ヘルパーの教育・定着化

○ヘルパー勉強会



日	内容
10月	生活援助(調理)
11月	生活援助(調理実習)
12月	楽しく働くための試み ヘルパーの個々の意見を生かす
1月	オムツ交換
2月	新年決起大会
3月	2019年度反省会(ハツとしたことなど)



★11月の調理実習は、庄コミュニティセンターをお借りする
今回は、食材をサービス提供責任者が用意して
その食材で何が作れるかを考えてもらい
作ってもらう事を行いました。
☆1月身体介護 オムツ交換では、いつでも依頼があれば
誰でもできるようにしっかり学習しています。

勉強会の充実

・毎月第3週の金曜日に行われる勉強会

今後は、新型コロナ対策で勉強会の方法も考えていかなければならないと思っています。

サービス提供責任者《外部研修》

	内容	参加者
5月20日	介護保険制度における集団指導	園山
6月14日	茨木市障がい福祉サービス事業者連絡会 総会	園山
6月24日	介護の為の医学の基礎を学ぶ(介護労働安定センター)	船戸
11月20日	介護職のための薬の知識(エル 大阪)	高木
令和2年1月11	茨木市障がい福祉 移動支援	近藤
2月12日	緊急時の対応をスムーズに行えるようにする。	園山
2月13日	平時からの災害準備支援を考える(難病関係期間)	杉浦
3月11日	サービス提供責任者研修(エル大阪)	松尾

引き続き勉強会、研修会等参加をしていきます。

以上

平成 31 年度 エルダーケアプランセンター 事業報告書

1) 平成 31 年度報告事項

- 31 年度の新規プラン数が 40 件あったが、56 件が減少があった。
年々プランが減少している。減少の原因としては、介護の重度化による在宅生活が困難による施設入所や持病の悪化による他界の増加が考えられるケアマネジャーとしても介護が重度化になるにつれて在宅サービスを増回することで利用料の負担が重くなることや家族の介護の限界を考え施設の入所を検討していくことの選択を背ざる負えない状態であった。
- プラン数が減少している中で、少しでも収入アップを目指すために今期は認定調査の件数が前年より増加している。各ケアマネ一人ひとりが収入アップを目指すために 1 件でも認定調査の件数を増やす意識をもつことで認定調査件数が増加した結果となった。

2) 平成 31 年度ケアマネ活動報告

- 週 1 回のケアマネ会議の開催 (毎週火曜日 11 時～12 時)
- 内部研修
 - 接遇について (4 月)
 - 障害福祉等サービスの理解と連携について (5 月)
 - 事例検討会 1 回 (6 月)
 - 地域の社会資源について (7 月)
 - 口腔ケアとケアマネジメントについて (8 月)
 - ケアプラン点検 (9 月)
 - 事例検討会 2 回 (10 月)
 - 感染症について (11 月)
 - 人権について (12 月)
 - ファシリテーターの基本的な役割について (1 月)
 - 認定調査の実践研修 (2 月)
 - 福祉用具について (3 月)

3) ケアプラン実績報告

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
ケアプラン数	173	173	174	173	177	178
予防プラン数	42	40	41	40	40	41
認定調査	18	17	20	16	14	16

月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
ケアプラン数	180	171	167	168	168	168	2070
予防プラン数	39	41	41	38	34	37	474
認定調査	16	15	24	22	23	19	220

ケアプラン数 月平均 172 件

予防プラン数 月平均 39 件

認定調査件数 月平均 18 件

4) 相談件数実数

- 31 年度の相談総件数 46 件 (内、ケアプランに繋がった件数 40 件) 月平均 3 件で、相談件数の内訳は包括 4 件・家族 21 件 病院 5 件 他事業所 (老健施設・訪問看護) 10 件であった。
今期も家族からの相談、また他事業所 (老健や訪問看護 閉鎖することになったケアプランセンターのケアマネ) からの相談件数も多かった。

5) サービス担当者会議開催数

延べ 362 件

医師との連携 39 件

介護保険更新申請時・区分変更時・介護サービスが増えたとき・減ったときにサービス担当者会議を開催する。利用者は日々状態が変化しており、プランの変更が必要も増えているため必要に応じて、利用者を中心に関係者が意見を出し合う場を設定していく。

6) 外部研修

- 4 月 10 日 居支・地域包括・在介研修 (佐藤・廣瀬)
- 5 月 15 日 ケアプラン研修 (平方・小泉・永田・佐藤・廣瀬・中谷)
- 5 月 27 日 居支・地域包括・在介研修 (佐藤)
- 6 月 20 日 認知症医療連携協議会研修 (佐藤・廣瀬)
居支・地域包括・在介研修 (平方・中谷)
- 6 月 13 日 茨木市新規認定調査研修受講 (廣瀬)
- 6 月 14 日 東・白川エリア 地域ケア会議 (中谷)
- 6 月 19 日 薬剤師と学ぶ 「在宅とお薬」勉強会 (永田)
- 7 月 12 日 東・白川エリア 地域ケア会議 (小泉)
- 7 月 26 日 庄エリア 地域ケア会議 (平方)
- 8 月 14 日 ケアマネジメント研修 (平方・佐藤・中谷)

- ・8月22日 茨木市主任介護支援専門員研修 (中谷)
- ・8月23日 庄エリア 地域ケア会議 (佐藤)
- ・9月13日 東・白川エリア 地域ケア会議 (永田)
- ・9月17日 介護支援専門員全体研修会 (平方・小泉・永田・佐藤・廣瀬・中谷)
- ・9月13日 茨木市相談支援会研修 (廣瀬)
- ・9月27日 庄エリア 地域ケア会議 (小泉)
- ・10月11日 介護医療連携検討会 (小泉・中谷)
- ・10月11日 東・白川エリア 地域ケア会議 (平方)
- ・10月15日 茨木市相談支援部会 (平方・中谷)
- ・12月12日 茨木市認定調査員現任研修会 (平方・小泉・永田・佐藤・中谷)
- ・11月22日 庄エリア 地域ケア会議 (佐藤)
- ・12月13日 東・白川エリア 地域ケア会議 (永田)
- ・1月24日 介護支援専門員全体研修会 (平方・永田・佐藤・中谷)
- ・1月31日 ケアプラン研修会 (平方・小泉・永田・佐藤・中谷)
- ・2月28日 ケアマネジメント研修会 (中谷)
- ・介護支援専門員更新研修 (小泉・永田・中谷)

7) 大阪府介護支援専門員実務研修実習受入れ

- ・4月30日 (1名)
- ・6月5日・24日 (1名)

8) 人事異動

- ・野田道代 4月30日 (退職)

9) 戦略会議

- ・第1回 平成31年4月20日
- ・第2回 令和1年7月20日
- ・第3回 令和1年10月18日
- ・第4回 令和1年1月24日

H31年度 診療室事業報告

<自己力、連携力、組織力を強め、安全で安心できる医療・看護体制の実現にむけて>

・今年度は前期の心不全、心筋梗塞、脳梗塞、意識障害などの重度の疾患に加え、後期には胆嚢炎や呼吸不全、下肢壊死の方もおられたが、いままでの知識や医療、介護連携することで、早期からの対応を実施することができた。

・ショートステイではインスリン対応者についてマニュアルを作成。下肢壊死、けいれん意識障害などの対応について特に病院との連携につとめた。

・褥瘡、リハビリについては、ケアを共有すべき点が多くあり、R2年度は委員を兼任してもらい、委員会活動を行うこととなった。

・看護の日勤リーダー業務、オンコールを常勤職員全員で実施できる体制を作ることができた。継続していきたい。

・配薬準備や分包について、薬箱をショートステイと入所に分け、2日分以上用意することで

緊急時にも備えた業務体制を開始した。

<働きやすい職場環境・風土をつくるについて>

・年次休暇については、正職員、非常勤職員ともに5日以上の休暇をとることができた。

妊娠出産をひかえた職員についても業務内容を相談し、業務にあたってもらうことができ、現在は育児休暇中である。

<質の高いエビデンスに基づいた感染対策を推進するについて>

・昨年、流行した皮膚感染症(疥癬)の予防として改めて予防策を見直し、予防法を啓発・実施した。今年度の発生はなかった。

・インフルエンザ予防については利用者、職員ともに、ワクチン接種や手洗い、検温の徹底をよびかけ、施設内での発生を予防できた。

・2月より、新型コロナウイルスの流行が世界的に拡大。検温、体調不良、呼吸器症状のチェックによる予防・発熱時の受診体制、対応方法、また消毒方法や防護服、手袋、シールドの装着方法のシュミレーション、感染対応時の不足している医療物資(消毒剤、手袋、マスク、防護服など)の使用についても感染予防策を様々な情報を収集しながら実施した。

緊急事態宣言も発令され、社会生活の変化も大きいですが、新型コロナウイルスについて充分に職員が理解したうえでケア、業務を行えるよう、エビデンスにもとづく医療サイドからの可能な支援方法を考えていく。

<平成31年度 茨木市地域包括支援センターエルダー 事業報告書>

平成31年4月より、東・白川地域包括支援センターを開設。エルダーでの担当小学校区が2小学校区減少。職員体制も9人から6人となった。

1. 介護予防マネジメント業務 (一人20件制限のため、20件×6人=120件/月 3月のみ、20件×5人)

- ①総合事業（ヘルパー、デイのみ利用の方）
 - ☆包括独自プラン... 680件/年（内新規32件）
 - ☆委託プラン... 1104件/年（内新規49件）
 - ②予防給付（福祉用具レンタル、訪問看護、デイケアを単独利用若しくは総合事業と併用利用の方）
 - ☆包括独自プラン... 562件（内新規作成25件）
 - ☆委託プラン... 1591件（内新規作成40件）
- ※現在は(680件+562件)÷12=104件/月

<三島区福祉委員会事業>

- ☆サロン、給食会等【三島小学校区、庄栄小学校区、太田小学校区、西河原小学校区】
 - 50回（血圧測定、個別相談 延べ549名）
 - 担当小学校区が2小学校区減少したものの、サロン等の参加は1回減少したのみであった。
- ☆地区相談会【太田小学校区、西河原小学校区】
 - 10回（血圧測定、個別相談 延べ71名）
 - 前年度より、参加が63回減少。それにともない、血圧測定、相談も653件減少。東・白川小学校区に相談会が集中していたことがわかった。今後は、三島、庄栄地区での地区相談会も計画していく必要があると考える。

2. 総合相談

- 介護保険未申請及び認定があってもサービス利用にむずびついていない方の相談
- ☆ 関係機関（ケアマネ、医療機関等）... 延べ580件
- ☆ 住民（本人、家族、知人等）... 延べ1230件

3. 権利擁護事業

- ☆ 成年後見制度... 延べ11件
- ☆ 消費者被害... 延べ0件
- ☆ 虐待... 10人（疑い含む）【身体的5件、介護放棄2件、経済的2件、心理的3件】※重複あり
 - 本年度は、1人分離（特養入所）、2人精神科入院（認知症）、1人一般病院入院、2名永眠。サービスを増やす等にて在宅生活をしている方、4人。次年度も対応継続するのは5人。

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

- ☆ ケアマネに対する個別指導・相談... 211回
- ☆ 関係機関との連携づくり※... 232回
 - ※セーフティネット会議（庄栄地区、三島地区、西河原地区、太田地区）、グループホーム、小規模多機能施設運営推進会議（みしま苑、グループホーム末広、庄栄エルダー

デイサービス、デイ100、グループホーム美咲、小規模多機能型居宅介護（ばるの家）、地区相談会、サロン、連絡会や会議等。

- ☆ 支援困難ケース※... 新規18人
 - ※本人や家族に障害（精神、知的）、虐待、問題行動を伴う認知症状等の9項目に分類。対応（電話や訪問、ケースカンファレンス等）は、261回。

5. 地域ケア会議【自立支援型地域ケア会議】

日にち	時間	場所	事例内容	参加人数
7月26日	13:30~14:30	東コミュニティーセンター	外出はされているが、歩行距離が短い。ADLの低下が懸念。	26
8月23日	13:30~14:30	東コミュニティーセンター	ADL・健康状態を本人や家族も過信。身体負担が心配。	20
9月27日	13:30~14:20	西河原コミュニティーセンター	生活はできているが、体力の衰えを感じ気分が落ち込む。	19
11月22日	13:30~14:30	藍野大学短期大学部	視力障害があり、サポートで生活。今後は心配。	22
1月24日	13:30~14:30	西河原コミュニティーセンター	70歳代で、介護保険サービスを利用されている方の今後。	12

- ※6月20日、6月24日に他の地域包括に傍聴で参加。
- ※年6回開催を予定していたが、2月、3月、コロナウイルス対策のため中止。

6. その他 (2月20日、茨木市からの通達によりその後の研修、会議等は中止となった)

- ① <会議>
 - ・ 茨木市地域包括支援センター運営協議会（年3回）
 - ・ 茨木市地域包括支援センター連絡会（毎月）
 - ・ 茨木市総合事業連絡会（毎月）
 - ・ 茨木市認知症地域連携連絡協議会（年3回）
 - ・ レビュー会議【虐待評価】（年3回）
 - ・ 茨木市地域包括支援センター主任介護支援専門員連絡会（毎月）
 - ・ 茨木市地域包括支援センター医療職連絡会（毎月）
 - ・ 茨木市地域包括支援センター社会福祉士連絡会（レビュー会議以外の月、年9回）
 - ・ 茨木市認知症地域支援員との連携会議（年3回）
 - ・ 茨木市立総持寺いのち・愛・ゆめセンター支援方策会議（年1回）
 - ・ 三島・庄栄・太田地域連携会議（年2回）
- <研修会開催等>
 - ・ 認知症サポーター研修（12月、1月）
 - ・ 東園域（東・白川包括と合同）介護支援専門員研修会「書類の変更について等」（5月）
- <実習生>
 - ・ 藍野短大専攻科（11月 2日間 2名）

人員（平成31年3月末現在）※1

センター長（社会福祉士兼務）	1名
看護師	2名
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士	2名

（令和2年度）※2

センター長（社会福祉士兼務）	1名
看護師	2名
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士（管理者1名兼務）	2名
介護支援専門員	

- ※1 平成31年2月15日 事務員1名、介護支援専門員1名退職。
- ※2 令和2年年度、介護支援専門員求人中。

〈 東・白川 地域包括支援センター 〉平成31年度事業報告

○概要

東・白川エリアにおいて、平成31年4月に東・白川地域包括支援センターが新規オープンいたしました。エルダー包括から引き継ぎ、地域で暮らす高齢者の心身の健康保持や福祉の増進等のために様々な活動を実施しました。CSW・社協と共催で総持寺団地のよりそい相談会を新規開催する事ができました。また高齢者の介護予防教室の新規開催にも協力し、介護予防や高齢者の居場所の確保に貢献しました。今後も、関係機関とのネットワークの構築・強化し、切れ目のない包括的な支援となるよう連携してまいります。

○目標に対して

1. 東・白川地域包括支援センターを 地域の方に知っていただくために、エリア内の 医院・クリニック、歯科医院、薬局、郵便局、総持寺団地管理事務所、公民館、コミセン、隣接の総合病院連携室、白川コープ等 合計32か所にご挨拶に伺い、オリジナルチラシを配布、新包括の周知・啓発を行いました。
2. より信頼される相談機関・専門職になれるよう、各々の職員が研修会に出来るだけ参加し、自己研鑽を心がけました。
3. 4人体制での運営ですが、当日の訪問相談にも対応するなど 迅速・丁寧・柔軟な対応に努めました。

○活動報告

1. 総合支援事業に関するケアマネジメント業務

- ①訪問型サービス、通所型サービス、短期集中サービス等の特徴などの理解を深め、特に、新規の方には訪問型サービスAのサービスを推進することができました。
- ②地域のサロン・給食会等に積極的に参加し、血圧測定や講話を通して、高齢者の実態把握や顔の見える関係作りを行いました。

2. 予防給付に関するケアマネジメント業務

- ①要支援認定者に対して、適切なアセスメントに基づき、プラン作成いたしました。委託先の居宅介護支援事業所への助言・指導も併せて実施しました。
- ②要支援から要介護となった利用者様（今年度は49名）に対して、居宅介護支援事業所に迅速に繋ぎ、スムーズに移行しました。

3. 総合相談・支援事業

- ①今年度延べ2148件の電話や来所等による相談に対応し、的確な情報提供や、訪問・

支援を行いました。来所相談は月平均10件程度あり、地域住民への包括の周知が少しずつ進んでいます。

- ②茨木市内の全包括、行政、関係機関・隣接する病院や事業所との連携・情報交換も密に行うことができました。

4. 権利擁護事業

- ①虐待等のケースに対して、包括三職種で情報共有し、安全を迅速に確認するとともに、相談支援課やサービス事業所とも連携し、支援を行うことができました。（定期的にモニタリング実施）
- ②成年後見制度について、医療機関や司法書士と連携し、申し立て支援を行いました。

5. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

- ①居宅介護支援専門員が抱える困難事例等に対し、随時、指導・助言もしくは連携を行いました。
- ②茨木市内の全包括合同で研修会を 今年度は1回実施し、居宅介護支援専門員の資質向上を図りました。
- ③エルダー包括と合同で、居宅介護支援事業所対象に勉強会等を行い、資質向上と連携強化を図りました。

6. 地域ケア会議の実施

- ①自立支援型地域ケア会議を年6回実施することができました。
- ②地域ケア会議の後に交流会を実施し、専門職間の連携強化につなげることができました。

7. その他

- ①個人情報の保護・管理を徹底して行いました。
- ②夜間・休日等も転送電話により24時間体制で対応しました。

★セーフティネット会議

(実績)

- ・東セーフティネット会議 毎月第4水曜日(10回)
- ・白川セーフティネット会議 毎月第3木曜日(10回)

★給食会・サロン・老人会

- ・白川地区福祉委員会・・・サロン 4、7、9、12月実施、3月は中止
- ・東地区福祉委員会・・・給食会 年5回予定→4回実施 第4金曜日

★福祉相談会

- ・東コミュニティセンター いこいこ亭相談会 毎月第1木曜日 (11回)
- ・白川高層住宅集会所 いこい亭相談会 毎月第2水曜日 (10回)
- ・白川公民館 カフェしらかわ 毎月第3金曜日 (10回)
- ・総持寺団地 よりそい相談会 毎月第2金曜日 (8回)

★会議等

- ・地域包括支援センター運営協議会 年6回予定 → (4回)
- ・地域包括支援センター連絡会 毎月第3水曜日 (11回)
- ・介護予防・日常生活支援総合事業連絡会 毎月第3水曜日 (11回)
- ・主任ケアマネ会議 毎月第3金曜日 (11回)
- ・医療職会議 毎月第4火曜日 (10回)
- ・社会福祉士会議 毎月第2火曜日 (8回)
- ・高齢者虐待レビュー会議 (全体の評価・振り返り) (3回)
- ・エイジフリーケアセンター茨木総持寺・小規模多機能運営推進会議 (5回)

◎売り上げ報告

- ・自己プラン 目標 80件 (20件×4人) / 月 に対して
→令和2年3月 は 67件 (達成率83.75%)

- ・平成31年度 売上実績は下記の通り

平成31年度 売上実績(予防+総合)	総合計
プラン数	791
④介護予防プラン料	3643521
内新規プラン数	31
⑤初回加算	99510
介護予防プラン料総額(④+⑤)(円)	3743031

- ・月により、新規件数のバラツキがあること、要支援から要介護に移行する方が一定数あることから、自己プランと委託プランの数を調整しつつ、プラン数増加に努めます。

東・白川地域包括支援センター

【平成31年度実績】 職員4名

介護予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プラン数	28	31	40	37	37	35	35	38	39	37	35	37	429
④介護予防支援費 内新規プラン数	128828	142631	184040	170237	170237	161035	161385	175218	179829	170607	161385	170607	1976039
⑤初回加算	0	1	2	2	0	0	1	1	0	1	1	3	12
介護予防支援費 総額(④+⑤)	128828	145831	190466	176657	170237	161035	164395	178428	179829	173817	164595	180237	2014559

総合支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プラン数	23	24	26	33	31	33	33	33	30	33	33	30	362
④介護予防ケアマネジ メント費 内新規プラン数	105823	110424	119626	151833	142631	151833	152163	152163	138330	152163	152163	138330	1667482
⑤初回加算	0	1	3	2	1	2	1	2	1	4	2	0	19
介護予防ケアマネジ メント費 総額(④+⑤)	105823	113634	129256	158253	148841	158253	155373	158563	142540	165603	159598	138330	1728472

平成31年度 売上実績(予防+総合)	総合計
プラン数	791
④介護予防プラン料	3643521
内新規プラン数	31
⑤初回加算	99510
介護予防プラン料総額(④+⑤)	3743031

令和2年5月20日

平成31年度決算期
茨木市コミュニティソーシャルワーカー配置事業
社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）
事業報告

◆総論

今年度は、昨年末に行われたCSW事業の受託プロポーザルが行われ、担当地域に関しては、変更なく継続して当法人が受託したが、他地区では多数の地域で再編がなされ、市全体としてのCSW活動の連携の再構築が余儀なくされた。

担当地区においては昨年度に引き続き、災害に強い地域づくりを念頭に「いざという時の顔の見える関係づくり」に尽力し、福祉に携わる方、自治会組織の方、関係機関等との関係づくりは、確実に構築されたと感じる。

◆具体的な活動について

東小学校、白川小学校が担当校区であり、それぞれの地域で毎月1回開催される健康福祉セーフティネット会議に参加し、会議進行役を担って民生児童委員、福祉委員、自治会長、行政及び関係機関がそれぞれの立場から両地域の福祉の向上、生活困窮者への援助について語り合う場をコーディネートした。

・健康福祉セーフティネット（いきいきネット）会議開催状況

（開催回数）

東小学校区：11回 白川小学校区：11回

*3月の東小学校区については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

8月の白川地区は、お盆期間中の為、中止した。

（参加人数）

東小学校区：延べ103名 白川小学校区：延べ325名

・電話、訪問、来所等による相談件数

・月別相談件数（延べ）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	25	28	33	29	24	22	28	31	25	23	27	33	328

・相談対象者内訳（延べ）

高齢者	障害者	子育て世代	その他	計
228	43	32	25	328

◆茨木地区協力雇用主会の取り組みへの参画

平成26年7月より継続的に参加している浪速少年院での就労支援講座では、院生に対して、出院後の就労の魅力、自立した生活の楽しさなどをテーマに定期的に講演してきた。

また、出院準備生を社会参加への第一歩として、社会奉仕活動を庄栄エルダーセンターにて毎月一回、4名ほどを受け入れ、車椅子などの手入れ等を行い、利用者から「ありがとう」と感謝されることの喜びを体験してもらっている。

◆茨木市CSW協議会としての取り組みについて

今年度は、CSW受託法人、担当地域の再編のため、市域全体の連携について主に検討した。

また、若年層の課題抽出を目的に小中学校との関係の構築にも注力した。結果、中学校卒業後の課題対象者への支援が円滑に図ることができた。

◆社会貢献（レスキュー）事業について

今期については以下の4件の該当ケースがあった。

- ① 知的障がい者の世帯分離後の自立に向けた住居確保等。
- ② 実母より精神的虐待を受けている妊婦の世帯分離に伴う住居確保等。
- ③ 離婚した母子世帯の自立に向けた住居確保等。
- ④ 地震災害により引っ越しを余儀なくされた精神疾患者の住居確保等。

以上

（報告書要約版）

今年度は、若年層にフォーカスを当て、早期に支援体制が整えられるよう小中学校との連携を中心に図った。結果、年度末に発生した新型コロナウイルス感染症対策において、孤立しがちな若年層への支援（相談）業務が円滑に図れた。

また、茨木市CSW協議会においては、担当地区の再編などがあり、市域全体の連携体制の構築に協議会代表として積極的に取り組んだ。

2019年度 地域密着型認知症対応型デイサービスセンター未来事業報告

[2019年度事業報告事項]

☆ 認知症通所介護としての特化を生かしていく事を目的とし 認知症状の緩和を目指し 会話を通して、頭の体操や 四肢体操・指先運動などを取り入れて参りました。

結果：在宅介護が継続できるように 落ち着いた状態でお家に帰って頂く事が出来、家族様との信頼関係も深まりました。

☆ 自宅より外出拒否のある方に対して、職員による電話や訪問を行いました。時間をかけて、お迎えに上がったりと着替えなどもお手伝いさせて頂きました。

結果：現在3月末において、一人の外出拒否を出す事もなくスムーズに送迎させて頂いています。

☆ 未来の好感度アップの為にご家族様と一緒にイベントの企画を行いました。

結果：認知症を患った利用者様のご家族様は介護疲れが大きく、「参加出来ない」と言われイベントには参加せず、お家でゆっくりしたいと

1割も参加して頂く事が出来ませんでした。

中には「いつも見ているからいいです」といった言葉も見られています。

ただ、いつも有難いですと言った言葉も多く見られました。

未来としての在り方を今後も追及していく次第です。

☆ ご家族様に未来の良さをアピールするために、担当者会議などやケアマネ様の訪問などを未来で行って頂くように進めてみました。

結果：ご家族様に「いつもと違った症状が見れた」「あんな笑顔家ではないのに」「未来さんは本当に良くして頂いてくれて嬉しい」との言葉を頂きました。

☆ 月に1～3回の行事は各曜日の登録人数が少ない曜日に実施し

臨時利用等の声掛けを行い利用者確保に繋げて参りました。

結果：行事やイベントの企画をすることで利用者様の人数を増やすことが出来ました。また、イベントはすごく喜ばれて臨時利用されるご利用者様も増えてきています。

☆ 2020年1月より全員が介護福祉士というとてもいいスタートがきる事が出来ています。専門知識の高い介護が未来で出来るという事のアピールをしっかりと行えるようにしました。

重度の方の受け入れや 医療的ケアが必要な方も受け入れることが出来るとアピールを行ってきました。

結果：いいスタートでしたが新型コロナウイルス感染症に伴います、ご利用者様の減少・またケアマネ様も新規紹介に戸惑いもあるようです。今後も認知症の方が安心して生活できる場所の確保をしっかりと行います。未来においても感染予防対策をしっかりと行います。

○中長期計画に基づき 徹底した認知症についての勉強会を行い、専門性を高めて参りました。

認知症の方の気持ちなども意識しながら研修関係も行いました。

○中長期計画において運営推進会議を年2回行い 地域の方との交流を深めることが出来ました。

☆運営推進会議

2019年 5月23日13：30～14：40	12名	家族様 民生委員 ケアマネ様
2019年11月21日13：00～14：00	13名	ご本人様 地域包括センター様など

内容 活動状況の報告

2019年度の、事業計画、目標、行動一覧表、要慮者避難施設、職員外部研修計画についての報告を行いました。認知症対応型通所介護とはなどの話なども取り入れ、民生委員様などの地域の協力をお願いしました。また地域のイベントや清掃にも参加させて頂きたいとお願いをさせて頂きました。未来の在り方や今後の支援なども地域の方々を知って頂く良い機会となり、またご家族様の介護負担の意見なども聞かせて頂きました。

○中長期計画において リスク面においても3か月に一度リスクマネジメント会議を

行い ヒヤリハットを集計したものの評価し危険を回避しました。

○中長期計画に基づき、認知症症状の緩和や維持が出来るように職員の日頃の言葉遣いや接遇においてもしっかりと会議を行いました。

[実績報告]

年月	営業日数(日)	目標	利用者様(名)	一日平均利用者様人数(名)	目標達成率	前年対比
2019年4月	26	312	266	10.2	85.3%	107.3%
5月	27	324	259	9.6	79.9%	95.5%
6月	25	300	248	9.9	82.7%	101.2%
7月	27	324	259	10.0	79.9%	103.2%
8月	27	324	243	9.0	75.0%	92.7%
9月	25	300	249	10.0	83.0%	99.2%
10月	27	324	237	8.8	73.1%	87.5%
11月	26	312	231	8.9	74.0%	86.1%
12月	26	312	230	8.8	73.7%	82.8%
2020年1月	24	288	193	8.0	67.0%	89.0%
2月	25	300	203	8.1	67.7%	87.5%
3月	26	312	223	8.6	71.5%	96.6%
合計	311	3732	2841	-	-	-
年間平均	-	-	-	9.1	76.1%	93.0%

2019年	内部勉強会内容	感想・勉強したこと	担当者名
4月16日	介護記録の明確な記載方法	職員の情報共有ツールであること 誰が読んでもわかるように心掛けたら具体策や根拠を明確にすることを意識していく事を学びました。	小西
5月7日	リスクマネジメント事例検討と対応	事例検討から 実際に起きたアイデアでの転倒から、前日のお家での様子についても聞き入れるようにしていく事も大事な学びでした。	長田
6月21日	地震（震度7）想定訓練心肺蘇生とAEDの使い方	災害時の職員配置などについて話し合いました。（ご利用者様6名参加）車椅子で災害時に歩道を歩くのは難しいと感じました。（ご利用者様6名参加）	河田
7月19日	認知症の方の対応策	自分が必要な存在だと認識させる事やプライドを傷つけないようにする事認知症の方のペースに合わせることを勉強しました。	田中
8月8日	感染症・食中毒事例検討	感染症の予防策・感染源・感染経路・抵抗力の低下の3つの要素が揃ったときに感染が成立してしまう事を学びました。	小西
9月19日	人権研修	高齢者介護における権利擁護を学びました。	馬場
10月19日	認知症・レビー小体型認知症ピック病ケアについて	ケアについて デザイン・未来での工夫と一緒に考えて勉強しました。	井上
11月15日	接遇・マナーについて	介護士にとつての接遇・あいさつ・身だしなみ・寄り添う姿勢を勉強し満足感に繋がっていない事や学びました。	田中・馬場
12月20日	身体拘束・虐待	高齢者虐待防止法・身体拘束についてはいけない事を再確認しました。	坪内
2020年	感染症・食中毒事例検討	場合以外には身体拘束を行ってはいけない事を再確認しました。	長田
1月18日		C型肝炎のご利用者様が入浴中に出血のように心掛けていくことを勉強しました。	
2月15日	倫理・法令順守について	手袋をしたりして感染しないように心掛けていくことを勉強しました。	
3月15日	非常時の訓練（ご利用者様6名参加）	医療や介護のコミュニケーションを勉強しました。介護福祉士における順守についてもしっかり学びました。	小西・田中
		防災散歩をご利用者様と予定でしたががコロナウイルス感染症の流行の為実際にには行わず地図などを使い危機意識を高めました。	河田

2019年度のイベント

日	場所	利用者参加人数	前年度参加人数	担当	状況報告
4月4日	水尾公園 お花見散策	12名	11名	長田	毎年恒例のお花見を行いました。この日はとても肌寒く 職員が上着などを脱いでご利用者様に着て頂いたりバスタオルなどで衣類の調整を行いました。満開の桜にご利用者様はとても喜ばれておられました。 目的・趣旨：春の季節感を感じて頂き、喜びを感じてもらい社会性に繋がる為開催しました。
4月25日	若い頃を 思い出そう会	12名	10名	坪内	若い時の写真をご家族様に用意して頂きまして昔のお話をして頂きました。昔はこんなだったよなどと苦労話もしてくれました。 目的・趣旨：若い時の回想法などを取り入れ認知症緩和の為 企画・開催しました。
5月1日	令和お祝い会	9名	—	河田	今日から令和の時代が始まるという事でみなさまと一緒にお祝いさせていただきました。プラカードを作成し笑顔で写真を撮りました 目的・趣旨：中には大正・昭和・平成と生きられるご利用者様に時代を感じて頂く為に企画させて頂きました。
5月11日	母の日会	12名	12名	田中	母の日にお花と手作りカードのプレゼントをさせて頂きました。とても喜ばれておられました。 目的・趣旨：ご自身が母として活躍していた頃などを回想して頂いたり、又日頃の感謝を込めて開催しました。
5月20日	バラ公園散策	12名	11名	小西	天気予報は雨でしたが お昼の時間だけは雨がやみました。暑さもなく香りと美しいバラに心奪われました。皆様いい笑顔で帰宅しています。 目的・趣旨：認知症予防として、外出して初夏の季節を五感で感じて頂く為に企画、開催しました。
6月17日	魚輝水産 串カツ・ お寿司ツアー	10名	—	井上	昨年は地震がありこの時期のツアーは中止になってしまい皆様が楽しみにされていたこともあり企画しています。美味しいお寿司を食べれて満足されておられます。 目的・趣旨：外出の機会を増やし社会性を身につける為に企画・開催しました。
6月24日	フィーリング アーツ	11名	—	長田	現代美術作家の北村先生によるフィーリングアーツを開催し ボーカルセラピストの歌声や光と音楽にも癒されました。 初めての家族様と一緒にイベント企画でした。 目的・趣旨：心を豊かにして 認知症症状の緩和に繋がりたいと企画・開催させて頂きました。
7月9日	七夕会	12名	9名	田中	短冊にそれぞれ願い事を書いていただき飾りつけをしました。短冊の前で写真撮影をしたりレクリエーションをして楽しみました。今年は3mの笹を用意しました。 目的・趣旨：考えて書くという事が難しくなっております利用者様にもお願い事をするという企画をしました。

7月25日	夏を乗り切ろう会	8名	—	河田	暑い夏を体調を崩さないように気を付けて欲しいという気持ちを含めて開催しました。スイカ割り大会をしてハッスルハッスル楽しんで頂く事が出来ました。 目的・趣旨：夏の季節感を味わってもらえるように企画しました。
8月27日	フィーリングアーツ	11名	—	長田	現代美術作家の北村先生によるフィーリングアーツを開催し ボーカルセラピストの歌声や光と音楽にも癒されました。 今回もご家族様に参加して頂ける企画でしたが1名も参加されませんでした。 目的・趣旨：心を豊かにして 認知症症状の緩和に繋がりたいと企画・開催させて頂きました。
8月29日	未来夏祭り	12名	11名	小西	夏祭りを開催しました。夏祭りを開催するにあたって準備等細かいところまで打ち合わせをしました。 ご利用者様も喜んで頂く企画ですが職員も楽しめる行事としておこなっています。 目的・趣旨：夏の季節感を味わってもらえるように企画しました。また夏祭りの雰囲気を感じて頂きました。
9月16日	敬老会	11名	11名	河田	日頃の感謝を込めてお祝いさせていただきました。 写真やメッセージをのせたボードを作り お渡しさせていただきました。とても喜ばれておられました。 目的・趣旨：利用者様が今まで頑張ってきた話などをお聞きする回想法や日頃の感謝を込めて実施しました。
9月26日	ココス 沢良宜店 喫茶会	12名	12名	長田	外出することでご利用者様の笑顔に恵まれて美味しい 甘いスイーツに幸せを感じて頂き 会話も弾みました。 目的・趣旨：外出の機会を作って 認知症緩和に繋がるように 企画・開催しました。
10月20日	運動会	9名	12名	河田	パン食い競争、玉入れ、借り物競争、ビンゴ大会などで盛り上がりました。職員が必死になり笑いを誘っていました。 目的・趣旨：秋を感じて頂くことや、運動会を思い出してもらおう回想法として実施しました。
10月31日	ハッピーハロウィン会	12名	10名	井上	昨年開催しましたが ハロウィンパーティーはなかなか？といった様子でした。仮装をするとご機嫌でした。仮装をしたりお菓子を配ったりしました。 目的・趣旨：現代のイベントなども取り入れ新しい事を体に取り込んでいく企画提案しました。
11月9日	中津小学校文化展見学	10名	12名	井上	中津文化展に地域密着型として参加してきました。今年は落語を見させて頂き景品なども当たりすぐ楽しかった様子でした。時間を忘れて楽しみました。 目的・趣旨：地域の皆様と交流することによって社会の一員として実感して頂く為、企画しました。

11月14日	紅葉狩り	9名	12名	長田	耳原公園に紅葉狩りに出掛けました。天候にも恵まれて綺麗に色づいていました。 猫や池の鯉やシラサギなども見て笑顔も多かったです。少し寒くてひざ掛けを使ったりしました。 目的・趣旨：認知症予防として、外出して秋の季節を五感で感じて頂く為に企画、開催しました。
12月5日	石狩鍋パーティー	10名	—	田中	寒くなってきましたので 鍋パーティーを企画しました。未来の中も温かくはしていましたが 鍋をすると暑いと暖房はいらずでした。ぬくぬくお鍋でした。 目的・趣旨：寒い冬もお鍋でほっこりして頂けるように身も心も温かくなるように企画させて頂きました。
12月19日	お買い物ツアー in イオン 新茨木店	8名	—	河田	日頃買い物も行かなくなり家族様にお願いする事も増えてるご利用者様に選ぶ楽しみ考える楽しみを見つけて頂く為に開催しました。おやつを食べたり、お話したりしてイオンを楽しんでくれておられました。 目的・趣旨：外出の機会を増やして心身機能共に改善していただく企画・開催させて頂きました。
12月24日	クリスマス会	8名	12名	小西	職員によりますハンドベルやサンタの衣装に身をまとい 写真撮影なども行いました。フィーリングアーツの北村先生も来ていただき 一緒に楽しませてくれました。 目的・趣旨：クリスマスの雰囲気や年末を感じて頂き、又、音楽療法も取り入れた認知症の進行防止の為実施。
2020年 1月9日	ハッピーニューイヤー会	12名	12名	河田	新年をお祝いして、書初めをして頂きました。 お昼からは職員手作りの福笑いをつくり全員で福笑いをしました。笑い声が響いていました。 目的・趣旨：新年の雰囲気を感じて頂き、又「福笑い」などでの回想法での認知症進行の防止の為実施しました。
1月23日	和食さとお食事ツアー	11名	—	小西	初めて和食さとの食事会を開催させて頂きました。皆様は笑顔も多かったですが量のお座敷で床に座れないと戸惑う事もみられました。椅子を借りて対応しました。 目的・趣旨：外出の機会を増やし社会性を身につける為に企画・開催しました。
2月4日	節分会	12名	11名	小西	鬼に扮した職員めがけてお手玉を投げて皆様「福」を呼び込んで下さっていました。数々のゲームで盛り上がって下さり笑顔の一日となりました。 目的・趣旨：節分の雰囲気を感じて頂く為実施しました。また、昔の節分を回想して頂きました。
2月14日	バレンタインデー 大ビンゴ大会	9名	9名	田中	チョコレートのあげた話 もらった話をしました。 ビンゴ大会では1位～3位までの方が大きいプレゼントがあり 大変盛り上がってくれました。 目的・趣旨：バレンタインデー雰囲気を覚えて貰いました。数字を使ったイベントでは認知症予防に繋がる企画としてあげさせて頂きました。

2月25日	天皇陛下 万歳会	10名	—	小西	2月23日は天皇陛下の誕生日でしたがコロナウイルス感染症の影響で一般参賀が出来なくなりましたので未来で君が代を唄ったりしてお祝いしました。 目的・趣旨：天皇陛下は昔の方は偉大でしたので一般参賀が出来ない事に心打たれておられる方に企画しました。
3月3日	ひなまつり会	12名	11名	小西	職員がパネルを用意して 顔を入れて 写真撮影を行いました。 笑顔も多く写真撮影おいてもなりきっておられました。 目的・趣旨：ひなまつりの雰囲気を感じて頂く為、 また、子育ての頃を回想して頂く為、実施しました。
3月26日	お花見 ドライブ	12名	—	河田	本当ならお花見を企画していましたが コロナウイルス感染症の流行に伴いまして送迎車より降りることなく ドライブをしながら散策となりました。 目的・趣旨：お花を見て頂く事で 感受性を強く持って頂き 認知症症状の緩和を目指す為に 企画・開催しました。

◎新型コロナウイルス感染症に伴います流行になるまでは イベントは外出の機会も多く取り入れて参りましたが 2月より外出はもとよりイベントの自粛にまで響いてしまいました。
未来ではご利用者様とおしの距離を開けたり 送迎車やフロアにおいて換気や消毒の徹底を行っていますがどうしても認知症状ならではの動きだったり、マスク使用の意味や理解なども難しいのが現状です。
そうした中でのイベントは職員が少しでも気持ちが穏やかになるように企画し フロア内の状況や状態の把握をして行った結果でもあります。今後外出のイベントが少しでも早く再開出来るようにしていきたいと考えます。

茨木市福井多世代交流センターは、高齢者に加えて18歳以下の子どもが利用できる施設になって5年が経過しました。

当センターの運営・管理につきましては、職員を2人体制として交代勤務で行っております。施設利用の有料化に伴い、団体の部屋利用とマッサージ機等の附帯設備利用について有料になり、開館時間につきましても、午前9時から午後9時までとなっております。

また、茨木市直営の送迎バスの廃止により、利用者の利便性を確保するため、自主事業として送迎車を運行し、利用者の送迎を行っております。

(1) 施設の利用人数について

令和元年度の施設利用者総数は11,078人（前年度対比107.4%・R2.2比較）（コロナウイルス感染防止休館のため）で、1ヶ月の平均利用者数は1,007人でありました。その内、18歳以下の学生が学習室を利用した人数は653人で、子どもふれあい交流事業に参加した子どもは122人でありました。また、送迎車の利用総人数は2,129人で、1日の平均利用人数は7.83人でありました。

(2) 施設の利用状況について

利用の状況については、登録の同好会や趣味の団体による曜日を決めての活動、日常的にはマッサージ機やヘルストロン、卓球、囲碁と将棋、バンパーの利用、さらには、地域の老人会活動など、高齢者の活発な活動・交流の場として利用されました。なお、子どもの利用に関しましては、当センターでは、中学生と高校生が自習のために利用する場として「学習室」を運営しております。

同好会として、「カラオケ」「バンパー」「グランドゴルフ」「詩吟」「生花」「囲碁・将棋」の各同好会が、また、趣味の団体として、「民謡」「カラオケ」「踊り」「ギター」などがあります。

(3) 介護予防体操事業等の実施について

利用者のふれあい交流や健康保持などを目的として、「子どもふれあい交流事業」（20回実施）や「介護予防（初級）体操教室（リズム体操・元氣いばらき体操など）」（24回実施）、「はつらつ運動教室」（18回実施）、「脳若返り教室」（10回実施）などの委託事業を実施、また、自主事業として演奏会や講演会などの「教養講座」（6回実施）や映画会（21回実施）、作業療法士による「健康リハビリ」（5回実施）の実施、学生の自主学習を支援するため、週1回「学習アドバイザー」を配置するなどの事業を定期的に行うとともに、利用者との交流をはかるため、「うどん大会」、「おでん大会」を実施しました。

(4) カラオケ事業等の実施について

日頃の同好会活動の発表の場として、「うたまつり」を実施し、4月に「さくらまつり」、7月には、「納涼大会」、11月には「もみじまつり」、1月には「新春お楽しみ会」として、カラオケや詩吟、舞踊などの発表会を、毎回100人程度の参加をえて盛大に開催しました。さらに、広く一般の利用者もカラオケに参加できるよう、毎月1回「カラオケ広場」を実施して、多くの利用者（毎回25～30人）に楽しんでもらっています。加えて、大広間の利用がない日にカラオケを自由に楽しんでもいただくため、「カラオケ体験日」（月4回程度）を行いました。

また、夜間の利用促進を図るため、月1回「カラオケナイト事業（夜間6時～8時30分）」を実施しました。

令和元年度 福井多世代交流センターの事業報告 ※ () は利用人数

4月 3日	リズム体操 (36人)	5月 8日	はつらつ運動教室 (28人)
	カラオケナイト (6人)	11日	子どもふれあい交流事業 (5人)
6日	映画会 (11人)	14日	カラオケ広場 (21人)
9日	さくらまつり (97人)	15日	元気いばらき体操 (18人)
13日	子どもふれあい交流事業 (5人)	17日	健康リハビリ体操 (3人)
17日	元気いばらき体操 (22人)	18日	映画会 (8人)
20日	映画会 (7人)	20日	はつらつ脳若返り教室 (26人)
23日	カラオケ広場 (22人)	22日	はつらつ運動教室 (35人)
24日	はつらつ運動教室 (23人)		カラオケナイト (6人)
※カラオケ体験日	3回 (43人)	25日	子どもふれあい交流事業 (5人)
		29日	リズム体操 (37人)
		※カラオケ体験日	5回 (72人)
6月 1日	映画会 (11人)	7月 3日	リズム体操 (27人)
5日	リズム体操 (33人)	6日	映画会 (10人)
8日	子どもふれあい交流事業 (8人)	8日	はつらつ脳若返り教室 (24人)
11日	カラオケ広場 (30人)	9日	カラオケ広場 (31人)
12日	はつらつ運動教室 (31人)	10日	はつらつ運動教室 (32人)
15日	映画会 (7人)	17日	元気いばらき体操 (28人)
17日	はつらつ脳若返り教室 (21人)	19日	健康リハビリ体操 (10人)
19日	元気いばらき体操 (23人)		第2回教養講座「フルート・
22日	子どもふれあい交流事業 (8人)		ハーブ演奏会」(45人)
25日	第1回教養講座「健康教室」(21人)	20日	子どもふれあい交流事業 (8人)
26日	はつらつ運動教室 (25人)		映画会 (9人)
	カラオケナイト (3人)	22日	高齢者交通安全教室 (9人)
※カラオケ体験日	4回 (53人)	24日	はつらつ運動教室 (32人)、
			カラオケナイト (4人)
		27日	子どもふれあい交流事業 (6人)
		30日	納涼大会 (96人)
		31日	はつらつ出張講座 (10人)
		※カラオケ体験日	5回 (75人)
8月 3日	映画会 (12人)	9月 4日	リズム体操 (40人)
7日	リズム体操 (31人)	7日	第3回教養講座「敬愛コンサート」(54人)
10日	子どもふれあい交流事業 (4人)	9日	はつらつ脳若返り教室 (20人)
13日	カラオケ広場 (23人)	10日	カラオケ広場 (27人)
17日	映画会 (9人)	11日	はつらつ運動教室 (25人)
19日	はつらつ脳若返り教室 (23人)	14日	映画会 (11人)
21日	元気いばらき体操 (21人)		子どもふれあい交流事業 (5人)
24日	子どもふれあい交流事業 (5人)	18日	元気いばらき体操 (22人)
28日	はつらつ運動教室 (29人)	20日	健康リハビリ体操 (5人)
	カラオケナイト (9人)	21日	映画会 (12人)
※カラオケ体験日	5回 (66人)	25日	はつらつ運動教室 (23人)、

カラオケナイト (7人)

		28日	子どもふれあい交流事業 (8人)
		30日	消防訓練 (10人)
		※カラオケ体験日	5回 (70人)
10月 2日	リズム体操 (31人)	11月 1日	もみじまつり、うどん大会 (112人)
5日	映画会 (12人)	2日	映画会 (8人)
8日	カラオケ広場 (26人)	6日	リズム体操 (34人)
9日	はつらつ運動教室 (21人)	12日	カラオケ広場 (22人)
16日	元気いばらき体操 (19人)	13日	はつらつ運動教室 (27人)
19日	子どもふれあい交流事業 (7人)	15日	健康リハビリ体操 (8人)
	映画会 (12人)	16日	子どもふれあい交流事業 (8人)
21日	はつらつ脳若返り教室 (17人)		映画会 (8人)
23日	はつらつ運動教室 (31人)	18日	はつらつ脳若返り教室 (22人)
	カラオケナイト (13人)	20日	元気いばらき体操 (24人)
26日	子どもふれあい交流事業 (7人)	25日	カラオケナイト (7人)
30日	はつらつ出張講座 (17人)	27日	はつらつ運動教室 (32人)、
※カラオケ体験日	5回 (60人)		第4回教養講座「音楽配達便」(25人)
		30日	子どもふれあい交流事業 (4人)
		※カラオケ体験日	4回 (46人)
12月 4日	リズム体操 (36人)	1月 4日	映画会 (18人)
7日	映画会 (10人)	8日	はつらつ運動教室 (35人)
10日	第5回教養講座	10日	健康リハビリ体操 (6人)
	「ヘルマンハーブ演奏会」(62人)	11日	子どもふれあい交流事業 (6人)
11日	はつらつ運動教室 (35人)	14日	カラオケ広場 (31人)
	カラオケナイト (10人)	15日	元気いばらき体操 (29人)
14日	子どもふれあい交流事業 (7人)	18日	映画会 (13人)
16日	はつらつ脳若返り教室 (19人)	20日	はつらつ脳若返り教室 (24人)
18日	元気いばらき体操 (25人)	20日~25日	作品展示会 (出展者12人、作品数35点)
21日	映画会 (10人)	22日	はつらつ運動教室 (34人)
24日	カラオケ広場 (33人)		カラオケナイト (10人)
28日	子どもふれあい交流事業 (6人)	24日	新春お楽しみ会、おでん大会 (115人)
※カラオケ体験日	4回 (52人)	25日	子どもふれあい交流事業 (5人)
		29日	リズム体操 (46人)
		※カラオケ体験日	4回 (44人)
2月 1日	映画会 (11人)	5日	リズム体操 (50人)
7日	第6回教養講座「塩山和子コンサート」(62人)		
8日	子どもふれあい交流事業 (4人)	12日	はつらつ運動教室 (38人)
14日	カラオケ広場 (20人)	15日	映画会 (5人)
17日	はつらつ脳若返り教室 (23人)	19日	元気いばらき体操 (32人)
20日	第1回スマホ講座 (13人)	27日	第2回スマホ講座 (13人)
※カラオケ体験日	2回 (26人)		

<年間実施事業の実施回数及び利用人数>

・介護予防初級「リズム体操」11回 401人	・介護予防初級「元氣いばらき体操」11回 256人
・はつらつ運動教室 18回 536人	・はつらつ脳若返り教室 10回 219人
・健康リハビリ体操 5回 32人	・はつらつ出張講座 2回 27人
・さくらまつり 1回 97人	・納涼大会 1回 96人
・もみじまつり 1回 112人	・新春お楽しみ会 1回 115人
・カラオケ広場 11回 286人	・カラオケナイト 10回 75人
・カラオケ体験日 46回 607人	・教養講座 6回 269人
・子どもふれあい交流事業 20回 121人	・映画会 21回 214人
・作品展示会 1回 35作品	・高齢者交通安全教室 1回 9人
・消防訓練 1回 13人	

令和元年度 福井多世代交流センターの利用者数

	利用者数	送迎車利用者数 (送迎車の利用は無料)
4月	1,120人 (内夜間 51人)	182人
5月	934人 (内夜間 58人)	170人
6月	999人 (内夜間 55人)	190人
7月	1,143人 (内夜間 59人)	215人
8月	862人 (内夜間 36人)	189人
9月	937人 (内夜間 59人)	187人
10月	980人 (内夜間 72人)	182人
11月	1,030人 (内夜間 55人)	204人
12月	968人 (内夜間 43人)	189人
1月	1,015人 (内夜間 41人)	224人
2月	971人 (内夜間 40人)	181人
3月	119人 (内夜間 1人)	16人
合計	11,078人 (内夜間 570人)	2,129人

令和元年度 福井多世代交流センター職員の状況

所長	岡本賢二
職員	角山善雄
職員	河上順子
職員	山本和美
職員	濱野キク江 (令和元年9月入職)
職員	上月恵津子 (令和元年9月退職)
職員	山田 實 (令和2年3月退職)
職員	前山敬博 (令和元年12月退職)

令和元年度 部屋利用料及び附帯設備利用料の収入金額 (円)

4月 部屋利用料	48,400	計	82,800円
附帯設備利用料	34,400	36	

5月 部屋利用料	51,000	計	80,000円
附帯設備利用料	29,000		
6月 部屋利用料	46,040	計	77,640円
附帯設備利用料	31,600		
7月 部屋利用料	48,380	計	78,880円
附帯設備利用料	30,500		
8月 部屋利用料	43,480	計	74,480円
附帯設備利用料	31,000		
9月 部屋利用料	46,860	計	79,060円
附帯設備利用料	32,200		
10月 部屋利用料	48,760	計	78,460円
附帯設備利用料	29,700		
11月 部屋利用料	43,480	計	74,580円
附帯設備利用料	31,100		
12月 部屋利用料	37,700	計	68,500円
附帯設備利用料	30,800		
1月 部屋利用料	44,640	計	76,240円
附帯設備利用料	31,600		
2月 部屋利用料	43,440	計	72,940円
附帯設備利用料	29,500		
3月 部屋利用料	440	計	8,340円
附帯設備利用料	7,900		
小計 部屋利用料	502,620	合計	851,920円
附帯設備利用料	349,300		

事務所

○職員 入職 牧瀬悠吾(特養)4月1日 上村宙(特養)4月1日 石井恵美子(看護師)4月1日
 山田奈歩(地域包括)4月1日 田中美咲(東・白川包括)4月1日 王玉蘭(清掃)4月19日
 陳正豪(特養)4月16日 徐宏源(特養)4月17日 上羽勝(運転士)5月28日
 品田勉(運転士)6月5日 千原みのり(デイ)7月16日 眞下亜湖(特養)
 泉妃佐子(特養)8月1日 高純子(デイ)8月2日 太田遼真(経理)9月23日
 岡本愛(特養)10月1日 岸本由佳(特養)10月16日 坊向純一郎(特養)10月17日
 中嶋せき子(特養)11月1日 野口友美(特養)12月1日 大塚久美(特養)1月30日
 松下千津子(特養)2月1日 林幸史(デイ)3月1日 小片友子(理学療法士)
 荒木幸子(特養)3月16日

退職 木槻梢(特養)4月15日 西川龍馬(特養)5月15日 武田淳平(特養)5月31日
 野田道代(ケアプラン) 安延潤子(特養)6月15日 森田幸伸(特養)7月15日
 西田廣子(特養)7月31日 井手憂里佳(特養)8月15日 森田瑞佳(特養)8月15日
 喜多條真二(経理)9月30日 長谷川裕大(特養)9月30日 松本陽子(特養)9月30日
 細木實(宿直)11月15日 川口浩平(特養)1月7日 三藤敦子(特養)1月15日
 長沢舞(特養)2月15日 足立香(地域包括)2月15日 山田奈歩(地域包括)3月15日
 上村宙(特養)3月15日

○戦略会議 平成31年度 第1四半期 令和元年7月21日
 第2四半期 令和元年10月18日
 第3四半期 令和2年1月24日
 決算期 新型コロナウイルス感染予防の為紙面による開催

○感謝のタペ 6月15日 庄栄エルダーセンターにて開催 総数178名
 ○人事評価会議 6月20日 6月25日 11月25日 11月27日
 ○第10回エルダーセンター 研究発表会開催 令和元年10月27日開催
 ○第15回社会福祉法人成光苑 研究発表会 新型コロナウイルス感染拡大予防の為開催中止
 ○大阪老人福祉施設研究発表会 新型コロナウイルス感染拡大予防の為開催中止
 ○新型コロナウイルス感染予防対策会議実施 第一回目 2月27日
 第二回目 2月28日
 第三回目 3月17日

○職員確保計画 来期に向かっての職員採用の計画
 1・専門学校・短大・福祉系高校の求人訪問と実習先の依頼
 2・ホームページによる求人
 3・滋慶学園主催就職フェア2019 令和元年5月13日(大阪城ホール)
 4・福祉の就職フェア2019inOSAKA 令和元年7月20日

○ストレスチェック制度実施 7月17・19日 定期健康診断に加え実施

平成31年度研修報告

	月/日	研修内容
藤井舞・米田明美・坂井邦子 伊藤裕美・山本陽子	4/17	平成31年度運営方針等説明会
今井良・岩切友子・園山香津子	5/23	指定居宅サービス事業者等集団指導
川井由利恵	5/28	給食施設における非常時の備えについて考える

古川綾・田村理恵・坂井邦子	5/30	自立支援型地域ケア会議における司会者養成研修
高野典子・秦真弓	6/3	労働セミナー
川井由利恵	6/6	食中毒予防対策講習会
田村理恵・伊藤裕美	6/11	高齢者虐待対応研修
園山香津子	6/13	障害福祉サービス事業者等集団指導
鳥井山かおる・工藤強	6/15	メディカルサポートセミナー
神野享士	6/20	社会福祉施設ボランティアコーディネーター研修会
船戸弥生	6/24	介護のための医学の基礎
渡邊愛	6/25	介護現場におけるリスクマネジメント～ヒヤリハットと事故の減らし方～
八木美由紀	7/24	介護予防・生活支援サービス事業「短期集中予防サービス」
古川綾	8/5・13・16	養護者による高齢者虐待対応現任者研修
高野典子・船曳理恵	8/21	特定処遇改善加算について
権野竜也	9/10・19・25	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程～初任者編～
神野享士	9/21	本気で職場環境を変えたい人のための研修会
中谷利絵	9/21	認知症ケアスタッフのための認知症講座
神野享士	9/25	災害時における地域高齢者への支援に関する研修会
高野典子・今井良・岩切友子	9/25	茨木市介護保険事業者向け説明会
芦田力也	10/16	高齢者施設におけるホスピタリティマナーを楽しく学ぶ心理学
工藤強	8/22～10/29	喀痰吸引研修
天田利子	10/30	アルコール問題に気付くポイントと見立て方
高純子	11/12	感染症予防研修会(茨木市)
内田裕子	11/12・19・25	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程～チームリーダー編～
有馬美由紀・鳥井山かおる	11/14	感染症予防対策講習会
田村理恵	11/20	在宅医療総合支援事業ACP研修会
佐藤尚美	11/22	自立支援型地域ケア会議
山崎尚子	12/10	職場のよきメンターになるためのコミュニケーション方法
山城真知	12/17	続・緊急時の介護
近藤厚子	1/11	移動支援従業者養成～精神障害課程～
中尾巖・中谷直子・今井良 岩切友子・杉浦すみ子・藤井舞 神野享士・芦田力也・平方陽子 古川綾	1/17	茨木市高齢者サービス事業所連絡会 新春交流会
八木美由紀	1/21	自立支援・重度化防止に向けた通所型サービス事業所の役割
八木美由紀	1/23	高次機能障害
神野享士	1/30	就労支援担当者フォローアップ研修
千原みのり	2/3	生活期のリハビリテーション～医療・介護をつなぐ～
園山香津子・韓貞淑	2/12	救命救急～救える命を救いたい～
杉浦すみ	2/13	難病関係機関職員研修
松尾直美	3/11	サービス提供責任者研修

